

京都検定 公開テーマよもやま話

第21回

京都検定講演会講師による「よもやま話」。京都検定を通じて、京都の魅力を再発見しましょう。

第25回京都検定 2級公開テーマ「紫式部と京都」

紫式部さん

私を平安時代へ連れてって！



塩原 直美
京都観光
アドバイザー

第25回京都検定2級のテーマは「紫式部と京都」。現存する世界最古の長編小説『源氏物語』は、日本のみならず多くの国で翻訳され、世界中で読まれています。その執筆者である紫式部、実は生没年さえも分かっていません。今年の大河ドラマの主人公として描かれるイメージはありますが、実際の紫式部の足跡とは…。

まず生誕地は特定できないものの、大徳寺・真珠庵に産湯の井戸が伝わります。そして家族とともに暮らし、結婚生活を送り、『源氏物語』を執筆した地が現在、廬山寺のある場所とされています。

その邸宅近くには、紫式部が仕えた中宮・藤原彰子の父である道長の屋敷「土御門殿」や、彼が創建した荘厳な法成寺がありました。残念ながら当時の建物は現存していませんが、廬山寺周辺を歩いて、それらの位置関係を実感できるのが、京都の醍醐味です。上賀茂神社の片岡社(片山御子神社)や石山寺(滋賀県大津市)は紫式部が実際に足を運んだ社寺。堀川北大

路には、大徳寺・芳春院が管理する紫式部の墓、また訪れたかは不明ですが千本閻魔堂には供養塔があります。ほかにも氏神と崇めた大原野神社、銅像や『源氏物

語』のモニュメントがある宇治等、ゆかりの地を巡ることもできることながら、大河ドラマでは装束の華やかさや豪華な宴、琵琶等の楽器、偏つきや貝合わせ等の遊び、そして打毬や弓、猫を飼うシーン等もあり、フィクションながら平安貴族の日常生活が垣間見えます。西本願寺近くの風俗博物館で見ている平安時代の模型展示が、テレビ画面の中で等身大、かつ臨場感をもって再現されているのは、感慨深いです。そして『源氏物語』という大作だけでなく、「歌」を交わし合い、出来事を「日記」に記す等、千年以上前の人々の意思や心の内が分かる、それは実に尊く、興味深いです。紫式部を通して、平安時代がグッと身近に感じられますね。

また大徳寺・真珠庵に産湯の井戸が伝わります。そして家族とともに暮らし、結婚生活を送り、『源氏物語』を執筆した地が現在、廬山寺のある場所とされています。



堀川北大路下ルにある紫式部の墓
隣には公卿・文人の小野篁の墓もある



千本閻魔堂にある紫式部供養塔と像

※「京都・観光文化検定試験®」、「京都検定®」およびそのロゴマークは、京都商工会議所の商標です。無断で使用することはできません。

第24回京都・観光文化検定試験を
実施しました！

第25回も申込受付中！

7月14日に第24回京都検定を実施し、9歳から91歳までの老若男女計1522名の方にご受験いただきました。過去の本コラムでも取り上げた「京の涼さがし」を公開テーマ問題として10問出題、暑い京都でも涼しさを感じられるスポット等をご紹介しました。第25回(12月8日施行)も現在申込受付中！10名以上での申し込みで受験料割引となる団体受験制度もありますので、ぜひお申し込みください！

第24回京都検定 G-1グランプリ表彰団体

- 1位 京親心々
- 2位 京都検定で京都を楽しむ会
- 3位 京都中央信用金庫



◀京都検定の詳細はこちら または
京都検定

※京都検定では「公開テーマ」に関する問題が各級10問出題されます。